

# リニア中央新幹線長野県駅（仮称） 駅舎外観デザインについて

## キーワード・モチーフ・要望事項 変更箇所

### 【キーワード】

「信州・伊那谷の風景と営み」

変更なし

### 【モチーフ(信州・伊那谷の風景)】

#### ①全景パースのキャプション変更


変更前	変更後
天竜川・河岸段丘・山並みにより横に連なる景観構造を持つ伊那谷と地域の希望や未来のイメージを持つリニア中央新幹線	<u>アルプスや伊那山地</u> ・河岸段丘・天竜川により横に連なる景観構造を持つ伊那谷と地域の希望や未来のイメージを持つリニア中央新幹線

#### ②モチーフ写真追加 (果樹園)


変更前	変更後
	 <p><u>横へと枝を広げる樹形が特徴的な果樹園</u></p>

### 【モチーフ(信州・伊那谷が育んだ営み)】

#### ③モチーフ写真追加 (市田柿)

変更前	変更後
	 <p><u>丁寧な手仕事で生み出される市田柿</u></p>

#### ④モチーフ写真追加 (お練り祭りの獅子頭)

変更前	変更後
	 <p><u>深い彫りによって表情の凄みを伝える お練り祭りの獅子頭</u></p>

## 【要望事項】

変更前	変更後
① 駅前広場の整備コンセプトや地元の要望事項等を踏まえ、周辺住民の生活環境に配慮するとともに、長野県の南の玄関口としてふさわしい外観デザインとなるよう地元と連携して取り組んでいただきたい。	① 駅前広場の整備コンセプトや地元の要望事項等を踏まえ、周辺住民の生活環境に配慮するとともに、長野県の南の玄関口としてふさわしい <u>佇まいとなるよう、</u> 地元と連携して <u>外観デザインの検討に取り組まれたい。</u>
② 駅舎外観とリニア高架橋との取り合いが調和のとれたデザインとなるよう配慮し、複数の視点場からのイメージパースを提示していただきたい。	② 駅舎外観とリニア高架橋との <u>接続部については、</u> 調和のとれたデザインとなるよう配慮し、複数の視点場からのイメージパースを提示 <u>されたい。</u>
③ ガラス等を活用することで駅周辺からリニア車両を視認できるようにするとともに、リニア車両から伊那谷の風景を眺められる工夫をしていただきたい。	③ 駅周辺からリニア車両を視認できるようにするとともに、リニア車両から伊那谷の風景を眺められる <u>よう、ガラス等の素材を活用するなど工夫されたい。</u>

【キーワード】信州・伊那谷の風景と営み



アルプスや伊那山地・河岸段丘・天竜川により横に連なる景観構造を持つ伊那谷と地域の希望や未来のイメージを持つリニア中央新幹線

信州・伊那谷の **風景**



天竜川の穏やかな川面がきらめく風景



HALMEK HP より

斜面に水平に連なる棚田（千代のよこね田んぼ）



長野県提供

飯田市提供

横へと枝を広げる樹形が特徴的な果樹園

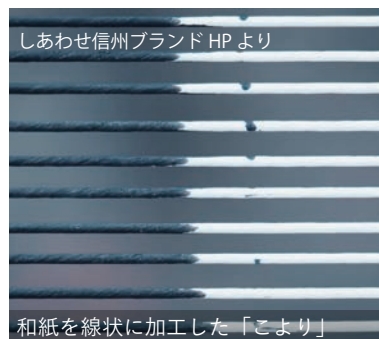
**結び**

信州・伊那谷が育んだ **営み**



Guidoor Media HP より

緻密な手仕事が生み出す美しい「水引」



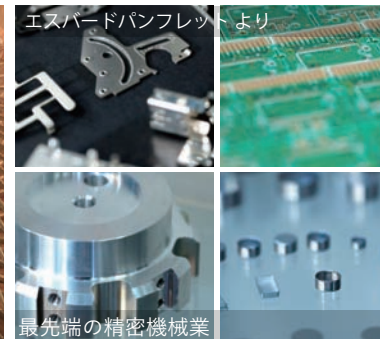
しあわせ信州ブランド HP より

和紙を線状に加工した「こより」



朝の字舎 (2013/7/11 放送) HP より

繊細な骨組みの「阿島傘」



エスパードパンフレット より

最先端の精密機械業



飯田市提供

丁寧な手仕事で生み出される市田柿



「夕の森」(菱田春草) 飯田市 HP より

菱田春草による光と影の美しい表現



飯田市提供

繊細な手仕事で感情や表情を表現する人形浄瑠璃



大鹿歌舞伎：南信州民族芸能 YouTube より

歌舞伎の白塗りと暗がりの舞台



飯田市提供

深い彫りによって表情の凄みを伝えるお練り祭りの獅子頭



『神々の訪れ』(飯田市美術館) より

神々の面の表情が陰影により移ろう霜月まつり

## 駅舎外観デザインにかかる要望事項

- ① 駅前広場の整備コンセプトや地元の要望事項等を踏まえ、周辺住民の生活環境に配慮するとともに、長野県の南の玄関口としてふさわしい佇まいとなるよう、地元と連携して外観デザインの検討に取り組みたい。
  
- ② 駅舎外観とリニア高架橋との接続部については、調和のとれたデザインとなるよう配慮し、複数の視点場からのイメージパースを提示されたい。
  
- ③ 駅周辺からリニア車両を視認できるようにするとともに、リニア車両から伊那谷の風景を眺められるよう、ガラス等の素材を活用するなど工夫されたい。

リニア駅舎デザインに係るキーワード・モチーフ及び外観要望事項に関する意見整理表

項目	内容	対応
<b>キーワード</b>		
	地元（南信州）の思いを汲んだデザイン等をご検討いただきたい。	南信州の関係機関等の意見も聞きながら進めてまいります。
	川・田んぼの風景ですが、このキーワードより「河岸段丘」と、果樹園風景が飯田下伊那の特徴としてあげられると思います。	伊那谷の特徴の1つとして果樹園風景について、モチーフに追加しました。
	「南信州」という表現を入れてほしい。「南信州・伊那谷の風景と営み」など。	キーワード・モチーフの基本となる「飯田・リニア駅前空間デザインノート」にも目指す姿として「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」とあり、リニアの効果をより広く波及させていく考えから、「信州・伊那谷」としています。
	まず、今回示されているキーワード案である「信州・伊那谷の風景と営み」という方向性については、地域性を表すものとして妥当であり、賛同いたします。そのうえで、飯田市およびリニア長野県駅の役割をより明確に表す補助的なキーワード（考え方）として、「あいだをとって、いいだ」を提案いたします。	いただいたご意見を踏まえて、今後駅舎、広場を含めた駅前空間の機能について、検討してまいります。
<b>モチーフ</b>		
	アルプスに囲まれた伊那谷というのがわかるように工夫されたい。	キャプションにより、アルプスや伊那山地、河岸段丘、天竜川が連なっていることの表現に修正しました。
	飯田下伊那地域の特産である果物や果樹（市田柿など）の写真を「信州伊那谷の風景」へ追加（市田柿のみの写真であれば「信州伊那谷が育んだ営み」へ）	伊那谷の特徴の1つとして、果樹園を「風景」に、市田柿を「営み」に追加しました。
	この地域に広く伝わる屋台獅子の写真を「信州伊那谷が育んだ営み」へ追加	伝統文化の1つとして、獅子舞を「営み」に追加しました。
	祭が大きなテーマだと思いますが、代表的な屋台獅子のモチーフが無く残念。また地域ブランド製品の市田柿はこの地域の代表とする物なので重視してもらいたい。	伝統文化や食文化として、獅子舞や市田柿を「営み」に追加しました。
	美しいまちのイメージ、立ち寄って見たいと思える、住民が誇りに思える要素を検討されたい。	美しい風景、営み、文化をモチーフとして表現しています。
	より未来を想像するイメージとして、グリーン水素など今後の発展を創造できるような写真を追加されたい。	未来のイメージとして、リニアや先端産業のモチーフを掲載しております。
	モチーフについて、飯田下伊那に画像が偏っているので、県内唯一の駅としてもっと広い範囲で考えてはどうか。	素材として飯田下伊那地域の写真を多く掲載しておりますが、これらは信州・伊那谷も要素として、他の地域にも共通するものと認識しており、「信州・伊那谷」のモチーフとして、JR東海に対しデザイン検討の参考資料として提出する考えです。
<b>外観要望事項</b>		
	経年劣化による汚れ、色あせ、くすみ等に強く、むしろ味わいを増すような色合い、素材の駅舎としてほしい。	素材や材質の観点については、今後推薦案を提出する段階において、関連する要望事項として検討してまいります。
	駅舎への鳥獣被害など心配しているので、維持管理が容易で費用がかからないものとしてほしい。	維持管理の観点については、今後推薦案を提出する段階において、関連する要望事項として検討してまいります。
	言い回しを検討されたい。	ご提案を参考に修正しました。
	「住民の生活環境への配慮」「地元との連携」は強調するとともに市民への周知の徹底されたい。	当要望の他にもJR東海と協議してまいります。経過については、HP等で周知してまいります。
	駅舎外観については、リニア中央新幹線の先進性を感じさせつつも、周辺環境から過度に突出する都市的建築ではなく、伊那谷の風景や暮らしの中に自然に接続するデザインを希望します。具体的には、ガラスや開口部を活用し、駅の内外から伊那谷の山並み、空の広がり、周辺の風景を感じられる構成とすることが望ましいと考えます。また、木材や落ち着いた色調などを取り入れることで、先端性と地域性が調和した外観となることを希望します。リニア長野県駅は、単なる交通施設ではなく、今後長く地域の顔となる施設です。そのため、駅舎そのものが「飯田らしさ」を示すとともに、来訪者に対して、ここが大都市圏と伊那谷をつなぐ場所であることを直感的に伝えるデザインであることが重要だと考えます。	ご意見を踏まえ「長野県の南の玄関口としてふさわしい外観デザイン」の部分に「佇まい」の表現を追記しました。
	駅舎の外観、内装、施設について、駅周辺整備で設置が検討されている「大屋根」との連続性、統一感を考慮し、地元木材を効率的、かつ、ふんだんに利用した駅舎、駅構内となるよう要望します。	今後、内観デザインの検討にあたっては、地域産材等の活用を含め、広場・高架下空間との調和が図られるよう、JR東海と協議してまいります。
	「長野県の南の玄関口」は「三遠南信の玄関口」としたほうが、リニアと三遠南信自動車道の相乗効果を想定されるため、当地域の現状にふさわしいと考えます。	南信州地域はリニアと三遠南信自動車道の相乗効果により「三遠南信地域の玄関口」になりうると考えますが、リニア中央新幹線長野県駅（仮称）を表す場合は県内唯一の駅であることから「長野県の南の玄関口」として表現していきたいと考えております。
<b>その他</b>		
	高架下もデザインに組み込まれるとしたら、木材、ガラスなど簡易でも良いので、外気を遮断し、内部空間とすべき。	今後、高架下空間の利活用については、リニア駅前広場活用検討会議等で検討してまいります。
	駅舎の早期計画・建設に加え、駅舎直結の商業施設ができれば賑わいにつながると思う。駅前広場でイベントがあるだけでは限界がある。他地域の好事例は取り入れていくべき。IT企業のオフィスなど、企業・人材が誘致できる根拠が必要。	駅舎早期完成については、JR東海に引き続き要望してまいります。駅舎以外の事項については、リニア駅前広場活用検討会議等で検討してまいります。
	補足意見として、駅舎外観および駅前空間の検討にあたっては、仮想空間を活用した市民レビューの仕組みも有効であると考えます。当方では、飯田市が公開しているリニア駅前空間デザインノート等の情報をもとに、VRChat や cluster といった一般向け仮想空間プラットフォーム上で、駅前空間を確認できるメタバース化の取り組みを行っています。これにより、図面や静止画だけでは把握しづらい駅舎外観、駅前広場、周辺景観との関係性を、市民や関係者が仮想空間内で体験的に確認することができます。リニア長野県駅は、地域の将来像を象徴する重要な施設であるため、専門家や関係機関だけでなく、市民が仮想空間内で実際に歩き回りながらレビューし、意見交換できる仕組みは、今後の合意形成や情報共有に有効であると考えます。当方としては、こうした仮想空間上での情報提供およびレビュー環境の構築について、必要に応じて協力・情報提供が可能です。	駅前空間等の計画および活用を検討するにあたっては、様々な関係者が参画し、意見交換や情報共有を図りながら進めることが重要であり、ご提案いただいた内容を含め検討してまいります。
	リニアの開通が10年近く延期となる現状において、駅周辺の公園や大屋根などについての固定化した考え方は時期尚早であると考えます。	一部供用については暫定的な利用を想定しており、一定程度の可変性を持たせた整備を行ってまいります。